

キベリハムシ、西宮市にも生息

三宅隆三

1990年8月25日、近藤浩文（西宮自然保護協会副会長）氏から、「苦楽園で、1週間ほど前にキベリハムシと思われる昆虫を見た」との知らせを受けた。早速、描いていただいた現地案内図を手掛かりに出かけたところ、間違いないことを確認した。本誌主宰の高橋寿郎氏にお尋ねしたところ、「西宮市内での生息の記録はなさそう」とのことなので報告する。

生息地 兵庫県西宮市苦楽園五番町2

この辺りは、西宮市内屈指の大邸宅が並ぶ住宅街である。道路に面して張られた金網にビナンカズラが10数mほどに渡って絡み着いている。25日は、4個体を見つけることができた。現地に着いたのが午後6時を少し過ぎていたので写真撮影はしなかった。ストロボを持ち合わせなかったからである。また、筆者宅から近いこともあり、この日は採集もせず、翌26日、午前8時30分頃に再び現地に出かけた。この時は、5個体1死体を数えることができた。写真撮影をした後、1個体を採集し、標本にして保存した。

なお、この件を西宮自然保護協会の理事会で話したところ、小林律子理事から、昨年7月22日に西宮市役所環境保全課が行なった「水辺ウォッチング」の際に、西宮市仁川町6丁目7辺りの仁川河川敷内で1個体を捕らえたことがあるとの報告があった。あまりにも有名な昆虫なので、すでに記録はされているものと思い、参加者に見せた後、放したとのことである。併せて報告しておく。

（附記） 本稿を送って頂いたのが9月6日である。9月11日に送られて来た兵庫県立自然系博物館（仮称）準備室ニュースNo.3を拝見すると西宮市塩瀬町名塩字土林にてキベリハムシを採集した記録（1989・7・20）が発表になっていた。西宮市の記録はこちらの方が古い記録になると思われる（高橋）